

「工学院大学レーシングチーム」 大会概要 （第1弾）

第19回学生フォーミュラ日本大会2021に出場 ーものづくり・デザインコンペティションー

【日時】 9月7日～11日の5日間

【場所】 静岡県袋井市/掛川市のエコパ（小笠山総合運動公園）で開催する。

【特記事項】

1 主催者側の現状報告

- 1 公益社団法人 自動車技術会は9月7日～11日の5日間にわたり、「第19回学生フォーミュラ日本大会2021」を静岡県袋井市/掛川市のエコパ（小笠山総合運動公園）で開催する。

学生フォーミュラ日本大会は、学生自らが小型フォーミュラスタイルの車両を使ったビジネスを構想して、実際に車両を設計、製作してコース上にて車両走行性能を実証する工学的技術の教育競技会。2020年の大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となってしまったが、2021年大会には75チームの参加申し込みがあったという。

なお2021年大会は、コロナ禍の影響を踏まえ海外チームを受け入れず、「学生フォーミュラ日本大会2021大会規則」の選定基準に沿って、国内の70チームが正式参加登録上限とされた。5チームはウェイトリミットとなる。

- 2 全日本 学生フォーミュラ大会は、学生にもものづくりの機会を提供し、学生チームが製作した車両の走行性能だけでなく、設計・コスト・プレゼンテーション審査を含めたものづくりの総合力を競う大会です。自動車技術会（支部含む）は、主催者として大会会場を準備し大会の運営を行います が、車両づくりのための資金援助や部品・資材援助等はありません。ただし、各支部等 が主体となり車づくりやドライビングの講習会などを開催し、学生たちが参加しやすい環境整備に努めます。

2 工学院大学 ソーラーチームの現状

私達学生フォーミュラプロジェクトは2004年に発足以来、毎年9月に開かれる「全日本学生フォーミュラ大会」に2005年の第3回大会から出場しています。私達はフォーミュラカーの設計・製作を行い、知識・技術の向上、及びマネジメントや製作管理、コスト管理を実際に経験することによって、ものづくりの基礎やエンジニアとしての思考を学ぶことを目的として活動しております。大学生活を充実させたい人、モノづくりが好きな人、車が大好きな人、どんな人でもやる気次第で大きく成長することができます！自分に満足していない人、向上心のある人、一緒に日本一を目指しましょう！